



研究テーマ

1 家庭科における学びの過程とその視点をふまえた授業づくり

2 小・中・高校の連携を生かした家庭科教育



伊波（有澤）

いは ありさわ ふうくみ
教育学研究科
教職実践開発専攻

教授

キーワード

家庭科、学び、学習過程、
授業分析、授業づくり、教
材開発、ヴィゴツキー、小
中連携、ICT、ポートフォリ
オ、ワークシート、指導方
法、授業記録

特許情報・
共同研究・
応用分野など

●主催する研究会：
「家庭科の授業を語る会」

●主著：
「わかったつもり」を問
直す家庭科での学び-“自ら
にとっての意味”の確定を
めざして-。あいり出版
, 2014.

研究概要

小・中・高校における家庭科授業の分析を行い、そこでの学びの過程を明らかにすることによつて、子どもの学びの視点に立った家庭科授業の構想や教材開発を行っています。

また、小・中・高校の連携を生かした家庭科教育の実現に向けて、ICT等に活用による各校種・学校間の情報共有の在り方について研究も進めています。

1 家庭科における学びの過程とその視点をふまえた授業づくり

ヴィゴツキーの精神発達の理論をふまえ、家庭科授業における学習者の学びの過程について分析するとともに、その過程に働きかける家庭科授業の位置づけを明らかにしてきました（「自らにとっての意味を確定していく家庭科での学び-かかわりの場の構成をめざして-」北海道大学大学院教育学院・博士学位論文.2013.）。その理論的枠組みのもと、家庭科授業の構想や教材開発等を行っています。

2 小・中・高校の連携を生かした家庭科教育

これまで宮崎県における家庭科の小中連携教育について実態調査及び課題の把握を行ってききましたが、さらに高校まで含め、家庭科教育における小・中・高校の連携のあり方について検討しています。特に、宮崎県においては、中学校の家庭科授業の専門性を確保するための方策としてもその視点からのアプローチが求められます。

家庭科での小・中・高校の連携を具体的に推進するためには、ICT（特にインターネット上の双方向性）の活用が重要であり、これまでに開発してきた「ポートフォリオ型ワークシート」および授業者用「指導記録用紙」を用いた情報共有のあり方についての研究を行っています。

ホームページ

「家庭科の授業を語る会」

<https://cms.miyazaki-c.ed.jp/ssc074/htdocs/>

技術相談に応じられる関連分野

家庭科授業に関するご相談にはいつでも対応可能です。

メッセージ

下記の「家庭科の授業を語る会」は、小・中・高校の先生方が家庭科の授業実践や課題、悩みなどについて語り合える場です。第3土曜日に定例で開催しており、どなたでもご自由に参加できます。どうぞお気軽にご参加下さい。